

科目ナンバリング											
授業科目名 ＜英訳＞		ドイツ文学 German literature				担当者所属 職名・氏名		文学研究科 教授 川島 隆			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月5		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
【授業の概要・目的】											
スイスの児童文学作家ヨハンナ・シュピーリ（1827-1901）の文学を取り上げ、以下の三つの観点から彼女の文学作品とその周辺の現象を見ていく。 1）シュピーリの生涯と作品 2）作品の文化史的背景 3）作品の翻訳・翻案および他メディアへの移植 シュピーリの長編小説『ハイジの修業時代と遍歴時代』（1880）と『ハイジは習ったことを役立てる』（1881）はこれまで50以上の言語に翻訳され、児童文学の古典として世界中で愛読されてきた。ただし、異なる言語に翻訳される過程で、文学作品は大きく姿を変えることがある。さらに、翻案や縮約版の出版、絵本化や漫画化、舞台化や映画化などにより、原作がまったく「別物」になることも珍しくない。そのような作品の変容に注目し、どのような理由でどのような変化が生じているのかを考察することは、ひいては私たち自身がどのような文化の中で生きているかを反省することにもつながる。シュピーリの『ハイジ』は、そのような問題を考えるうえで非常に興味深い素材である。 本講義では、原作小説の内容を一通り押さえたうえで、世界各国の多種多様な「ハイジ」像を相互に比較し、そこから浮かび上がってくる差異にどのような意味があるかを考える。											
【到達目標】											
・ヨハンナ・シュピーリとその文学について基礎的な知識を得る。 ・『ハイジ』を例に、文学作品が異なる言語・文化・メディアへと越境する際に経験する変容の意味を考える。 ・文学研究とはおおよそどのような活動であるかを把握する。											
【授業計画と内容】											
第1回	導入に代えて——文学研究とは何か？										
第2回	ヨハンナ・シュピーリの生涯 生い立ちと教育										
第3回	ヨハンナ・シュピーリの生涯 結婚と作家活動										
第4回	『ハイジの修業時代と遍歴時代』 自然と教育										
第5回	『ハイジの修業時代と遍歴時代』 キリスト教の信仰の問題										
第6回	『ハイジは習ったことを役立てる』 自然と医学										
第7回	『ハイジは習ったことを役立てる』 教育とジェンダー										
第8回	ヨハンナ・シュピーリの他の作品										
第9回	フランス語版『ハイジ』続編シリーズ										
第10回	映画化された『ハイジ』										
第11回	日本における『ハイジ』翻訳史 大正時代～戦前										
第12回	日本における『ハイジ』翻訳史 戦後～現在										
第13回	日本製アニメ『アルプスの少女ハイジ』										
第14回	『アルプスの少女ハイジ』ドイツ語吹替版										
-----ドイツ文学(2)へ続く↓↓↓-----											

ドイツ文学(2)
[履修要件]
特になし
[成績評価の方法・観点]
授業中の小課題にもとづく平常点（50％）および期末レポート（50％）で評価する。
[教科書]
ジャン＝ミシェル・ヴィスメール『ハイジ神話—世界を征服した「アルプスの少女」』（晃洋書房） ISBN:978-4-7710-2602-5 受講者は教科書を購入し、毎回授業に持参すること。
[参考書等]
（参考書） ちば かおり・川島隆『図説 アルプスの少女ハイジ—『ハイジ』でよみとく19世紀スイス』（河出書房新社）ISBN:978-4-309-76207-4 （関連URL） http://www.ne.jp/asahi/ts/hp/file5_heidi/file500_heidi_top.html(「アルプスの少女ハイジという物語」（関連情報サイト）)
[授業外学修（予習・復習）等]
授業で扱う／扱った作品を可能なかぎり実際に手に取って読んでみてほしい。
[その他（オフィスアワー等）]
[主要授業科目（学部・学科名）]